

第12章

計画の推進体制と評価の実施

1 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、県、市町村をはじめとして、県民や事業者等の多様な主体による一体となった取組が必要です。このため、岡山県医療審議会等の場を通じて、県民の意向を反映させるとともに、関係行政機関、保健・医療・福祉関係団体等と連携を図りながら施策を推進します。

また、本計画は、すべての県民が生き生きとした生活を送れるよう、良質な保健医療サービスが受けられる体制の確保を図る観点から策定していることから、「第3次健康おかやま21」、「第9期岡山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」など関係する計画と調和を保ちながら関係施策を総合的に推進します。

施策を着実に推進するため、あらかじめ数値目標を設定し、いわゆる「PDCA（plan-do-check-action）サイクル」を取り入れながら、計画の進行管理を行います。

2 評価の実施

本計画の進捗状況については、毎年度、数値目標項目に係る実績値の年次推移や施策の取組状況を岡山県医療審議会に報告するとともに、評価を行います。

また、各保健医療圏においては、地域保健医療計画の進捗状況について、毎年度、圏域保健医療対策協議会に報告するとともに、評価を行います。

全県及び保健医療圏における評価の結果は、本計画の推進に反映します。

3 進捗状況及び評価結果の公表

本計画の進捗状況及び評価結果については、県のホームページ等において公表します。

4 計画の数値目標

(備考欄は、該当の章－節－項番号)

項目	現 状	令和11年度末目標 (2029)	備 考
病院における相談窓口設置割合	147病院 92.5% R 5.3 (2023)	全病院 100%	6-1-1
病院における第三者評価 (（公財）日本医療機能評価機構又はJCI) による認定病院割合	28.3% (45病院) R 5.3 (2023)	全病院の50%	6-1-1
処方箋受取率	67.5% R 3年度 (2021)	70.0%	6-2-1
全てのがん検診受診率（国民生活基礎調査）	男性 胃がん : 51.8% 肺がん : 59.1% 大腸がん : 50.9% 女性 胃がん : 43.4% 肺がん : 56.3% 大腸がん : 47.3% 子宮頸がん : 49.4% 乳がん : 52.7% R 4年 (2022)	60.0%以上	7-1-1
がん検診精密検査受診率（市町村実施分）	胃がん : 85.2% 肺がん : 79.8% 大腸がん : 75.0% 子宮頸がん : 83.6% 乳がん : 93.7% R 2年度 (2020)	90.0%以上	7-1-1
がんの75歳未満の年齢調整死亡率 (人口10万対) ※基準人口は、昭和60（1985）年 モデル人口を使用	61.4 (全国4位) R 4年 (2022)	56.7	7-1-1
緩和ケア研修修了医師等数（累計）	3,200人 R 4年度 (2022)	4,500人	7-1-1
がん患者の在宅死亡割合 (在宅=自宅+老人ホーム+老健)	22.8% R 4年 (2022)	27.0%	7-1-1
がん患者の専門的な看護を行う専門看護師 ・認定看護師・特定認定看護師の増加	83人 R 4.12 (2022)	110人	7-1-1

項目	現 状	令和11年度末目標 (2029)	備 考
がん相談支援センターの相談件数	15,525件 R4年度 (2022)	18,000件	7-1-1
がん登録精度 (DCI割合)	2.3% R元年 (2019)	2.1%以下	7-1-1
がん登録精度 (DCO割合)	1.3% R元年 (2019)	1.0%以下	7-1-1
「岡山がんサポート情報」の閲覧件数	411件/月 R4年度 (2022)	650件/月	7-1-1
脳梗塞の新規入院患者 (紹介入院を除く) のうち、t-PA療法を実施した割合	7.3% R4年度 (2022)	7.5%以上	7-1-2
脳血管疾患の年齢調整死亡率 (人口10万対)	男性91.0 女性50.9 R2年 (2020)	男性76.2 女性45.5	7-1-2
脳梗塞の年齢調整死亡率 (人口10万対)	男性51.6 女性26.6 R2年 (2020)	男性41.7 女性22.0	7-1-2
急性心筋梗塞医療連携パスの 参加届出医療機関数	289機関 R5.4.1 (2023)	現状維持	7-1-3
心疾患の年齢調整死亡率 (人口10万対)	男性180.7 女性112.2 R2年 (2020)	男性160.9 女性 86.0	7-1-3
急性心筋梗塞の年齢調整死亡率 (人口10万対)	男性70.4 女性31.4 R2年 (2020)	男性66.8 女性24.2	7-1-3
大動脈瘤及び解離の年齢調整死亡率 (人口10万対)	男性14.7 女性 8.5 R2年 (2020)	男性14.2 女性 8.0	7-1-3
糖尿病が強く疑われる者の割合	男性15.5% 女性 7.4% R3年度 (2021)	減少	7-1-4
治療継続者の割合	70.8% R3年度 (2021)	75%	7-1-4

項 目	現 状	令和11年度末目標 (2029)	備 考
糖尿病性腎症の新規人工透析導入患者数 及び割合	268人 41.6% R3年 (2021)	減少	7-1-4
自殺死亡率（人口10万対）	15.9 R4年 (2022)	13.0以下 R7年 (2025)	7-1-5
入院後3か月時点の退院率	67% R元年度 (2019)	68.9% R8年度 (2026)	7-1-5
入院後6か月時点の退院率	82% R元年度 (2019)	84.5% R8年度 (2026)	7-1-5
入院後12か月時点の退院率	89% R元年度 (2019)	91.0% R8年度 (2026)	7-1-5
退院後1年以内の地域生活における 平均生活日数	320日 R元年度 (2019)	325.3日 R8年度 (2026)	7-1-5
精神病床における慢性期（1年以上） 入院患者数	<65歳以上> 1,441人 <65歳未満> 651人 R4年度 (2022)	<65歳以上> 1,418人以下 <65歳未満> 607人以下 R8年度 (2026)	7-1-5
ピアサポーター登録数	38人 R5.3末 (2023)	80人	7-1-5
認知症サポート医養成研修 修了者数（累計）	277人 R5.3末 (2023)	365人 R9.3末 (2027)	7-1-5
かかりつけ医認知症対応力向上研修 修了者数（累計）	1,941人 R5.3末 (2023)	2,200人以上 R9.3末 (2027)	7-1-5
歯科医師認知症対応力向上研修 修了者数（累計）	913人 R5.3末 (2023)	1,360人以上 R9.3末 (2027)	7-1-5
薬剤師認知症対応力向上研修 修了者数（累計）	2,063人 R5.3末 (2023)	3,030人以上 R9.3末 (2027)	7-1-5
病院勤務の医療従事者向け 認知症対応力向上研修修了者数（累計）	2,234人 R5.3末 (2023)	2,900人以上 R9.3末 (2027)	7-1-5

項目	現 状	令和11年度末目標 (2029)	備 考
看護職員認知症対応力向上研修 修了者数（累計）	558人 R 5.3末 (2023)	730人以上 R 9.3末 (2027)	7-1-5
認知症疾患医療センター数	9か所 R 5.4.1 (2023)	二次保健医療圏 ごとに1か所以上 R 9.3末 (2027)	7-1-5
認知症サポーター養成講座 受講者数（累計）	224,978人 R 5.3末 (2023)	280,000人 R 9.3末 (2027)	7-1-5
災害拠点病院及び救命救急センターの 耐震化率	90.9% R 4年度 (2022)	100%	7-2-2
DMAT隊員数	291名 R 5年度 (2023)	570名	7-2-2
DPAT先遣隊を有する医療機関	1 R 4年度 (2022)	2	7-2-2
義務年限終了後も県内に定着している 自治医科大学卒業医師の割合	60.8% R 5年度 (2023)	62.2%	7-2-3
周産期死亡率（出産千対）	3.5 (全国30位) R 4年 (2022)	低下 (全国1位)	7-2-4
出産千人当たりの産科・産婦人科医師数	14.0人 R 2年 (2020)	現状維持または増加	7-2-4
年少人口1万人当たりの小児科医師数	13.9人 R 2年 (2020)	現状維持または増加	7-2-5
入院確保病床数	-	590床	7-2-6
発熱外来医療機関数	-	617機関	7-2-6
自宅・宿泊施設・高齢者施設での 療養者への医療提供を行う医療機関数	-	1,007機関	7-2-6
後方支援医療機関数	-	88機関	7-2-6
派遣可能な医療人材数	-	医師 92人 看護師 154人 その他 41人	7-2-6
内科診療所のうち 在宅療養支援診療所の数の割合	27.9% R 2.4.1 (2020)	35.0%	7-2-7

項 目			現 状	令和11年度末目標 (2029)	備 考
病院（精神科病院を除く）のうち 在宅療養支援病院の数の割合			28.9% R 2.4.1 (2020)	37.0%	7-2-7
内科診療所のうち機能強化型 在宅療養支援診療所の占める割合			3.3% R 2.4.1 (2020)	4.0%	7-2-7
病院（精神科病院を除く）のうち 機能強化型在宅療養支援病院の占める割合			9.7% R 2.4.1 (2020)	14.0%	7-2-7
訪問診療を実施している診療所・病院数			515施設 R 2年 (2020)	現状維持	7-2-7
退院支援担当者を配置している医療機関数			110施設 R 2年 (2020)	132施設	7-2-7
訪問看護（介護給付におけるサービス利用 見込み）回／月			71,840 R 4年 (2022)	89,745 R 8年度 (2026)	7-2-7
24時間体制をとっている 訪問看護ステーション数			160施設 R 3年 (2021)	180施設	7-2-7
人生の最終段階で受けたい医療について家 族と話し合ったことがある県民（60歳以 上）の割合			47.6% R 5年度 (2023)	50.0%	7-2-7
骨髄ドナー登録者数			9,545人 R 4年度末 (2022)	10,000人	8-1-2
1歳児で麻しん・風しんの 予防接種を行っている割合			麻しん 97.2% 風しん 97.2% R 4年度 (2022)	麻しん 95%以上を維持 風しん 95%以上を維持	8-2-1
小学校入学前1年間で麻しん・風しんの 予防接種を行っている割合			麻しん 93.1% 風しん 93.1% R 4年度 (2022)	麻しん 95% 風しん 95%	8-2-1
結核罹患率（人口10万対）			7.9 R 4年 (2022)	7.5以下	8-2-2
平均寿命の延伸を上 回る健康寿命の延伸 (平均寿命： 男性・・・81.90歳、 女性・・・88.29歳)	日常生活に 制限がない 期間の平均	男性	72.28歳 R元年 (2019)	延伸 R17年度 (2035)	9-1-1
		女性	76.04歳 R元年 (2019)	延伸 R17年度 (2035)	

項目	現 状	令和11年度末目標 (2029)	備 考
適正体重を維持している者の増加 20～60歳代男性の肥満者の割合 40～60歳代女性の肥満者の割合 20～30歳代女性のやせの者の割合	29.9% 18.0% 15.2% R 3年 (2021)	25%未満 15%未満 11%未満 R 17年度 (2035)	9-1-1
特定健康診査・特定保健指導の 実施率の向上 特定健康診査の実施率（受診率） 特定保健指導の実施率（終了率）	53.3% 31.7% R 3年 (2021)	70% 45%	9-1-1
メタボリックシンドロームの該当者 及び予備群の減少	28.9% R 3年 (2021)	減少	9-1-1
適正体重を維持している者の増加 20～60歳代男性の肥満者の割合 40～60歳代女性の肥満者の割合 20～30歳代女性のやせの者の割合 低栄養傾向の高齢者 (65歳以上BMI 20未満) の割合	29.9% 18.0% 15.2% 19.4% R 3年 (2021)	25%未満 15%未満 11%未満 13%未満 R 17年度 (2035)	9-1-2 【一部再掲】
食塩摂取量が1日7g未満の者の 割合の増加	13.2% R 3年 (2021)	増加 R 17年度 (2035)	9-1-2
野菜の摂取量が1日350g以上の者の 割合の増加	18% R 3年 (2021)	増加 R 17年度 (2035)	9-1-2
朝食を毎日食べる児童・生徒の割合の増加 小学生 中学生	87.7% 80.8% R 4年 (2022)	100% 100% R 17年度 (2035)	9-1-2
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が 1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合	37.4% R 3年 (2021)	50% R 17年度 (2035)	9-1-2
日常生活における歩数の増加 20～64歳 65歳以上	男性 6,141歩 女性 5,095歩 男性 4,969歩 女性 4,365歩 R 3年 (2021)	男性 8,000歩 女性 8,000歩 男性 6,000歩 女性 6,000歩 R 17年度 (2035)	9-1-3

項 目	現 状	令和11年度末目標 (2029)	備 考
運動習慣者の割合の増加 20～64歳 65歳以上	男性 21.6% 女性 16.7% 男性 45.6% 女性 34.0% R3年 (2021)	男性 30% 女性 30% 男性 50% 女性 50% R17年度 (2035)	9-1-3
ストレスにうまく対応できない者の 割合の減少	14.5% R3年 (2021)	減少 R17年度 (2035)	9-1-4
睡眠による休養を十分とれていない者の 割合の減少	20.3% R3年 (2021)	15% R17年度 (2035)	9-1-4
生活習慣病のリスクを高める量を 飲酒している者 (1日当たりの純アルコールの摂取量が 男性40g以上、女性20g以上の者)の 割合の減少	<男性> 11.2% R3年 (2021) <女性> 7.4% R3年 (2021)	<男性> 9.5% R17年度 (2035) <女性> 6.4% R17年度 (2035)	9-1-5
20歳未満の飲酒をなくす	<中学生> 0.8% R2年 (2020) <高校生> 1.1% R2年 (2020)	<中学生> 0% R9年 (2027) <高校生> 0% R9年 (2027)	9-1-5
妊娠中の飲酒をなくす	0.6% R3年 (2021)	0% R9年 (2027)	9-1-5
20歳以上の者の喫煙率 (喫煙をやめたい人がやめる)	12.8% R3年 (2021)	9.1% R17年度 (2035)	9-1-6
20歳未満の者の喫煙率	0.1% R2年 (2020)	0% R17年度 (2035)	9-1-6
望まない受動喫煙の機会を有する者の減少 (家庭・職場・飲食店いずれかにおいて、 望まない受動喫煙を月に1回以上受けた 者の割合) ※現在喫煙者は集計対象から除く	29.8% R5年 (2023)	14.9% R17年度 (2035)	9-1-6
妊娠中の母の喫煙率	2.4% R3年度 (2021)	0%	9-2-1

項目	現 状	令和11年度末目標 (2029)	備 考
妊娠中の母の飲酒率	0.6% R3年度 (2021)	0%	9-2-1
産婦健診受診率	85.2% R3年度 (2021)	95%	9-2-1
妊娠・出産に満足している者の割合	84.0% R3年度 (2021)	90%	9-2-1
全出生児数中の低体重児割合	9.1% R3年 (2021)	減少	9-2-2
新生児聴覚検査受診率	92.4% R3年 (2021)	100%	9-2-2
1歳6か月児健康診査受診率	96.7% R3年 (2021)	97.5%	9-2-2
3歳児健康診査受診率	95.7% R3年 (2021)	97.0%	9-2-2
乳幼児期に体罰や暴言、ネグレクト等によらない子育てをしている親の割合	3・4か月児：95.2% 1歳6か月児：81.3% 3歳児：66.0% R3年 (2021)	3・4か月児：増加 1歳6か月児：85.0% 3歳児：70.0%	9-2-2
育てにくさを感じたときに 対処できる親の割合	85.1% R3年 (2021)	90.0%	9-2-2
この地域で子育てをしたいと思う親の割合	95.3% R3年 (2021)	現状維持	9-2-2
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる 時間がある保護者の割合	3・4か月児：90.9% 1歳6か月児：81.1% 3歳児：74.9% R3年 (2021)	3・4か月児：92.0% 1歳6か月児：85.0% 3歳児：75.0%	9-2-2
訪問看護（介護給付におけるサービス利用 見込み）回／月	71,840 R4年度 (2022)	89,745 R8年度 (2026)	9-5-1
看護小規模多機能型居宅介護の利用者数 （1月当たり）人／月	351 R4年度 (2022)	526 R8年度 (2026)	9-5-1
定期巡回・随時対応型訪問介護看護の 利用者数（1月あたり）人／月	415 R4年度 (2022)	574 R8年度 (2026)	9-5-1

項 目	現 状	令和11年度末目標 (2029)	備 考
発達障害について身近に相談できる かかりつけ医の数	304人 R 5.3末 (2023)	450人	9-7-1
妊産婦の歯科健（検）診受診率	31.6% R 3年度 (2021)	増加 R 17年度 (2035)	9-8-2
妊産婦の歯科保健指導を受けた率	17.5% R 3年度 (2021)	増加 R 17年度 (2035)	9-8-2
3歳児でむし歯のない児の割合	88.1% R 3年度 (2021)	95.0%以上 R 17年度 (2035)	9-8-2
かかりつけ歯科医を持っている 3歳児の割合	67.3% R 3年度 (2021)	70.3%以上 R 17年度 (2035)	9-8-2
12歳児でむし歯のない児の割合	74.0% R 3年度 (2021)	95.0%以上 R 17年度 (2035)	9-8-2
中・高校生で歯肉に炎症所見を有する 者の割合	中学生：21.6% 高校生：21.6% R 3年度 (2021)	中学生：19.0%以下 高校生：19.0%以下 R 17年度 (2035)	9-8-2
成人期 定期的に歯科健（検）診を 受けている者の割合	38.3% R 3年 (2021)	50.0%以上 R 17年度 (2035)	9-8-2
高齢期 健口体操を知っている者の割合	54.0% R 4年度 (2022)	70.0%以上 R 17年度 (2035)	9-8-2
県北の保健医療圏における病院の 10万人対医師数	186.4人 R 2.12.31 (2020)	現状維持	10-1 -1
県内の医師不足地域の医療機関に勤務する 地域卒卒業医師の数	24人 R 5.4.1 (2023)	29人	10-1 -1
復職を果たした女性医師数	183人 R 5.3.31 (2023)	285人	10-1 -1
看護職員の新規採用者の1年未満の離職率	10.2% R 4年度 (2022)	7.0%	10-4 -1
専門性の高い看護師の教育機関数	8カ所 R 4年度 (2022)	現状維持	10-4 -1
専門性の高い看護師の就業者数	458人 R 5年 (2023)	750人	10-4 -1